

【施用実績】トマト

◇推奨品種と施用量、期待出来る効果

推奨品種: **メインマグF** **メインマグN** **メインマグC** 施用量: 基肥時 30~60kg/10a
 苦土、ケイ酸の働きにより、**茎が強いトマト**になります。微量元素の働きにより**糖度が向上**します。

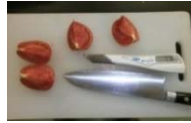


■圃場: 茨城県

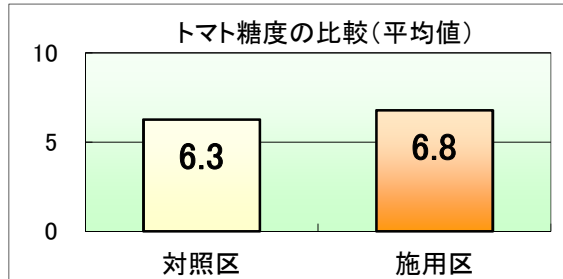


対照区	慣行
施用区	慣行+メインマグF 60kg/10a

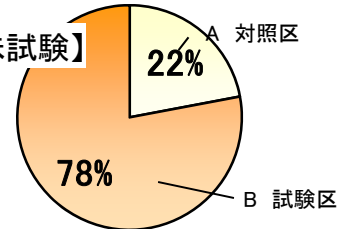
**メインマグ施用区
糖度上昇**



**メインマグ施用区の方が
美味しいと評価**



【食味試験】



※A、B内容は伏せて美味しいと感じたものを選ぶ
 トマト中央の液体部7箇所、トマト7個、合計49箇所から測定 150g前後のトマトを選定、採取2日後実施

【評価】(ユーザー様のご評価を含む)

・**糖度が上がり、メインマグ区の方が美味しい**と評価された。

■圃場: 北海道

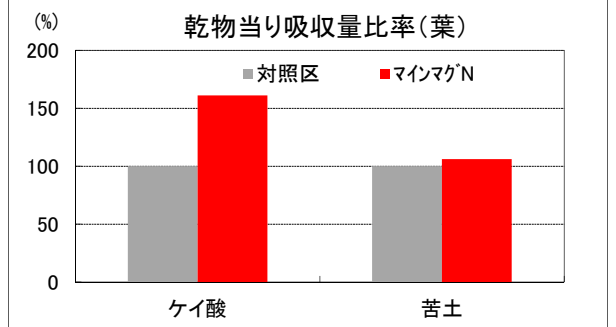


うどんこ病

対照区



メインマグN区 (30kg/10a)



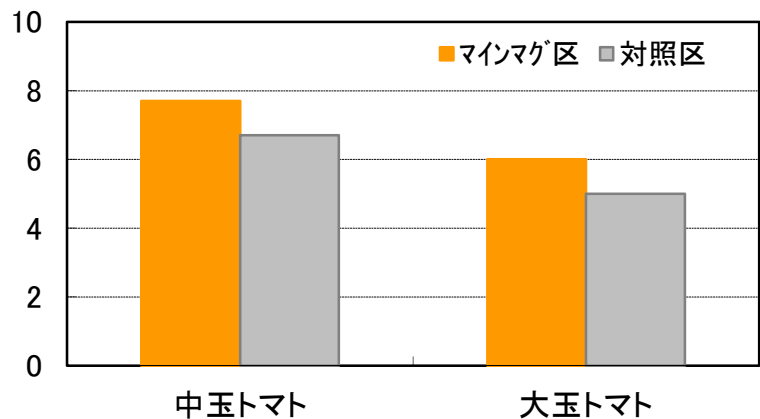
【評価】(ユーザー様ご評価を含む)

・対照区はうどんこ病が発生したが、メインマグ施用区は**健全に生育**した。

■圃場: 茨城県



トマト 糖度



【評価】(ユーザー様のご評価を含む)

・**香り・味が格段に良くなり、当農場のトマトを指定して購入するお客様が増加**した。

品種	対照区	メインマグ 施用区
(中玉トマト)	慣行	慣行+メインマグF (60kg/10a)
桃太郎エイト (大玉トマト)	慣行	慣行+メインマグF (60kg/10a)